

# 施策評価シート（平成29年度実績評価）

## ◎ 施策の基本情報

|               |       |  |     |         |             |                                  |      |             |             |        |
|---------------|-------|--|-----|---------|-------------|----------------------------------|------|-------------|-------------|--------|
| 総合計画<br>中期プラン | 政策No. | 3-3  | 政策名 | 生涯学習の推進 | 政策の<br>目指す姿 | 生涯を通じて、広い視野を持ち、活動しています           |      | 国際交流室       | 施策主管<br>課長名 | 佐々木奈津枝 |
|               | 施策No. | 3  | 施策名 | 国際都市の推進 | 施策の<br>目指す姿 | 世界に目を向け、様々な地域の文化や風土を受け入れ、交流しています | 関係課名 | 大迫総合支所地域振興課 |             |        |
|               | 現状と課題 | <ul style="list-style-type: none"> <li>定住外国人のための日本語講座や日本文化体験講座等の開催要望があります。</li> <li>国際交流事業については、交流している人たちの高齢化や固定化が見られ、新たな参加者が少なくなっています。</li> <li>国際交流に関心のある市民の割合が、H27年に34.8%（市民アンケート）となっています。</li> <li>これまで行われていた市民の団体と国内友好都市との交流が、少なくなっています。</li> </ul> |     |         |             |                                  |      |             |             |        |

## ◎ 前年度の評価の振り返り

### （前年度評価時の今後の方向性）

- ・イベント等の実施に際して、様々なメディア等を通じて積極的に周知を図っていく。
- ・日本語講座、日本語教師養成など定住外国人支援の充実を図っていく。

### （反映状況）

- ・イベントの開催にあたって、これまでのチラシ・ポスター、市の広報紙・HPに加えて、SNSを利用してPRに努めた。また、テレビやラジオへの出演等、積極的にPRを行った。
- ・日本語学習支援ボランティア養成講座を開催し、今後も、日本語学習者の支援を行っていくこととした。

## 1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取組

|  |
|--|
| (1)国際理解の醸成<br>○国際理解事業についての積極的なPR<br>・国際フェアのPRをSNSやマスメディアを通じて行った。   |
| (2)国際都市化に向けた環境づくり<br>○日本語講座など定住外国人支援の推進<br>・日本語学習支援ボランティア養成講座を開催し、定住外国人支援活動へとつなげた。<br>○多言語による市の情報発信<br>・英語・中国語・韓国語のフェイスブック、コミュニティFMラジオの外国語インフォメーションを通じて市の情報発信を行った。 |
| (3)国際交流の推進<br>○姉妹都市等との交流事業の充実<br>・本市中高校生の海外姉妹都市等への派遣研修、海外姉妹都市等からの訪問者の受け入れを実施した。  |
| (4)国内交流の活性化<br>○国内友好都市に関する情報の発信<br>・年4回会報を発行し、友好都市の情報を発信した。  |

## 2 成果指標

| 成果指標名                                      | 成果指標設定の考え方<br>(なぜ、この指標で成果を測ることにしたのか)                 | 成果指標の測定企画<br>(どのように実績を把握するのか)  | 単位 | 数値区分 | H26   | H27   | H28   | H29   | H30   | H31   |
|--|--|--|----|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 海外の姉妹、友好、友好関係都市との交流など国際交流に関心がある市民の割合（F-10） | 年代を問わず多くの市民が、姉妹・友好都市との交流を含む、様々な交流事業に関心を持っている度合いを示す指標 | 出典：市民アンケート問：あなたは、海外の姉妹・友好都市との交流など国際交流に関心がありますか？<br>(1)関心がある (2)どちらかというと関心がある(3)関心がない (4)どちらともいえない(1)(2)と答えた市民の割合 | %  | 目標値  | 41.0  | 42.0  | 43.0  | 35.0  | 35.5  | 36.0  |
|  |  |  |    | 実績値  | 36.6  | 34.8  | 35.8  | 36.6  |       |       |
| 国際交流事業参加者数                                 | 市民が世界に目を向け、様々な地域の文化や風土を受け入れ、交流している状況を示す指標            | 各種講座やイベント、海外からの受け入れ事業参加者及び姉妹都市等への派遣事業参加者の総人数   | 人  | 目標値  | 5,100 | 5,200 | 5,300 | 4,200 | 4,500 | 4,800 |
|  |  |  |    | 実績値  | 4,860 | 4,209 | 4,233 | 4,939 |       |       |
| 国内友好都市交流事業参加者数                             | 国内友好都市との交流活動の状況を示す指標                                 | 出展：花巻市友好都市交流委員会<br>算出：委員会を構成する各種関係団体における、友好都市の平塚市、十和田市との交流事業に参加した人数（訪問した人数及び受け入れ人数の合計）                           | 人  | 目標値  | 400   | 450   | 500   | 430   | 440   | 450   |
|  |  |  |    | 実績値  | 508   | 430   | 419   | 349   |       |       |

## 3 成果指標の達成状況

| 達成度 | 達成状況に関する背景・要因   |
|-----|---|
| C   | <ul style="list-style-type: none"> <li>■成果指標「海外の姉妹、友好、友好関係都市との交流など国際交流に関心のある市民の割合」・・・【達成度a】104.6%<br/>・海外の姉妹都市等と本市市民との交流状況を、市の広報やHP等により発信する回数を増やした。</li> <li>■成果指標「国際交流事業参加者数」・・・【達成度a】117.6%<br/>・国際交流イベントのPRに、SNSやテレビ・ラジオに出演する機会を活用し、イベントの周知を図った。</li> <li>■成果指標「国内友好都市交流事業参加者数」・・・【達成度c】81.2%<br/>・平塚市の都合により、少年少女交流キャンプへの参加が見送られた。また、国内友好都市との交流事業への参加者は周年記念事業のある年に集中し、その中間の年に交流事業参加者が少ない。</li> </ul> |

#### 4 施策を構成する事務事業一覧

| 番号  | 事務事業名<br>事業内容(活動実績)                                     | 担当課     | 施策への貢献度   |    | 成果 |
|-----|---|---------|-----------|----|----|
|     |   |         | 対象<br>直結度 | 意図 |    |
| 1   | 国際都市推進事業  | 国際交流室   | 一致        | 直結 | A  |
|     | 国際都市推進員による海外への情報発信、公益財団法人花巻国際交流協会を支援                    |         |           |    |    |
| 2-1 | 国際姉妹都市等交流推進事業   | 国際交流室   | 間接・<br>少数 | 直結 | C  |
|     | 国際交流協会が行う青少年海外派遣事業等を支援（派遣・受入人数81名）                      |         |           |    |    |
| 2-2 | 国際姉妹都市等交流推進事業   | 大迫地域振興課 | 間接・<br>少数 | 直結 | C  |
|     | 大迫高校生を海外友好都市へ派遣（3名）                                     |         |           |    |    |
| 3   | 国内友好都市等交流推進事業   | 国際交流室   | 一致        | 直結 | C  |
|     | 少年少女交流キャンプ等を実施。平塚市・十和田市への市民ツアーの実施など（交流事業30回、事業参加人数349人） |         |           |    |    |
|     |   |         |           |    |    |
|     |   |         |           |    |    |
|     |   |         |           |    |    |
|     |   |         |           |    |    |
|     |   |         |           |    |    |
|     |   |         |           |    |    |
|     |   |         |           |    |    |
|     |   |         |           |    |    |

#### 5 施策を構成する事務事業の検証

(①市民ニーズや市の関与の必要性が低下した事業、②投入コストのわりに成果が低い事業、③施策への貢献度の低い事業はないか)

・なし

(施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか)

- ・定住外国人の日本語学習ニーズが高いことから、定住外国人支援のため日本語学習講座の充実を図る。
- ・国内友好都市交流事業についての周知を充実し、参加者の増加を図る。

(新たに取り組むべき事業はないか)

・なし

#### 6 施策の総合的な評価

(課題)

- ・定住外国人の日本語学習を支援するボランティアグループの人員が不足しており、新たに参加する人が求められていることから、ボランティアや日本語教師の資格者に対してアプローチし、定住外国人の日本語学習を支える人材を養成する必要がある。

(今後の方向性)

- ・H29年度に続きH30年度も、日本語学習支援ボランティア養成講座を開催し、日本語学習支援に関心のある市民の発掘と、日本語学習ボランティアグループへの勧誘を図るとともに、広報等での呼びかけを行い、日本語教師資格保持者等日本語学習支援適任者にアプローチし、市内小中学校における外国人児童生徒等支援へとつなげていく。